

常任委員会における

議案の審査状況

文教民生常任委員会

8 月 30 日の委員会では、保育士の処遇改善を図るための助成、八木小学校・産業高等学校の耐震化事業、中学校給食センター設計にかかる補正予算などを審査しました。

その後、教育委員会による平成 24 年度事業の点検・評価結果と産婦人科の再開について、それぞれ報告を受けました。

最後に、その他の事項として、全国学力テスト、生活保護世帯などに対する学習支援、保育所の一時預かり事業、公民館・青少年会館について質問を行い、市の見解をいただきました。

事業常任委員会

9 月 2 日の委員会では、丘陵地区整備において土地所有権の移転登記を求めるための議案や、三田町念仏

議員研修会に参加

議員の政策形成や立案能力の向上を図るため、毎年、学識経験者を招き研修会を実施しています。

☆本市議会主催

7 月 26 日、岸和田グランドホールにて、和歌山大学経済学部教授の足立基浩氏を招き、「全国の事例で見るシャッター通り再生計画」をテーマに開催しまし



た。中心市街地の活性化、商店街の再生について、講義を受けました。

最後に、その他の事項として、広報きしわだの「ミニ情報コーナー」について質問を行い、市の見解をいただきました。

特定事件の 継続調査を可決

定例会最終日の 9 月 12 日、各常任委員会及び議会運営委員会から特定事件について、議会閉会中も引き続き調査を継続する申し出があり、議決しました。

各常任委員会は、左記内容の特定事件について先進都市への視察を予定しています。

☆文教民生常任委員会

図書館

☆事業常任委員会

再生エネルギー
公有施設の老朽化対策

☆総務常任委員会

市庁舎の建て替え
斎場の整備・運営

☆南部市議会議長会主催

7 月 4 日、浪切ホールにて、関西大学社会安全学部教授の河田恵昭氏を招き、「南海トラフ巨大地震の被害想定と防災・減災」をテーマに開催しました。最新の被害想定や浸水対策などについて講義を受けました。



—意見書を国会や関係大臣に送付—

地方税財源の充実確保を求める意見書

1. 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
(1) 地方単独事業を含めた社会保障関係費の増加など地方の財政需要を、地方財政計画に的確に反映することにより、一般財源総額を確保すること。
(2) 特に地方の固有財源である地方交付税については、本来の役割である財源保障機能・財源調整機能が適切に発揮されるよう増額すること。
(3) 財源不足額については、臨時財政対策債の発行等によることなく、地方交付税の法定率の引き上げにより対応すること。
(4) 依然として厳しい地域経済を活性化させる必要があることから、地方財政計画における歳出特別枠を維持すること。
(5) 地方公務員給与の引き下げを前提に平成 25 年度の地方交付税が削減されたが、地方交付税を国の政策誘導手段として用いることは避けること。
2. 地方税源の充実確保等について
(1) 地方が担う事務と責任に見合う税財源配分を基本とし、当面、国と地方の税源配分を「5：5」とすること。
その際、地方消費税の充実など、税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系を構築すること。
(2) 固定資産税は、市町村の基幹税目であることから、その安定的確保を図ること。
(3) 自動車重量税及び自動車取得税は、代替財源を示さない限り、市町村への財源配分の仕組みを含め現行制度を堅持すること。
(4) ゴルフ場利用税は、ゴルフ場所在の市町村にとって貴重な財源となっていることから、現行制度を堅持すること。

新たなスタート

産婦人科の今後の展望は

その他の質問
○高齢者福祉計画と地域包括ケアシステム
の課題

鳥居 宏次 議員

常勤医が着任した後、産科は来年度の早い時期に診療開始を考えている。
山積している課題について調査のうえ、適切な医療を提供できるよう環境を整え、外来及び入院に対応していく。同時に、がん診療の拡充についても検討していく。

【問】日本人の約 3 人に 1 人が、がんで亡くなる時代になっている。また、男性の 2 人に 1 人、女性の 3 人に 1 人が生涯で何らかのがんを発病すると公表されている。

【答】本市では、胃がんやがん検診は早期発見に最も有効である。本市のがん検診の現状と、がん対策の推進について聞きたい。

【答】本市では、胃がんや



再開に向け医療機器を整備

5 人の議員による 一般質問 その 1